

# 伝統の定期戦26年ぶりに復活

## 秋田高対秋田商 OB戦も

秋田高校と秋田商業の硬式野球定期戦が四月三十日、二十六年ぶりに秋田市営八橋球場で復活した。秋田の「早慶戦」とも言われる両校の定期戦は遠く大正時代にまでさかのぼり、四月末の恒例行事として多くの高校野球ファンを魅了してきたが、高校野球春季リーグ戦と時期的に重なることなどから昭和五十九年を最後に途絶えていた。



あれから四半世紀の時を経て定期戦が実現したのは、今年度学校創立九十周年を迎え

熱心なファンやOBがスタンドから見つめるなか、試合はまず四十歳以上のOB同士の先発出場が始まった。秋田商業先行の展開となった試合は四回、秋田高校がいったん逆転に成功したが、その裏秋田商業が一挙7点の大量得点

る秋田商業が記念事業として秋田高校との招待野球試合を企画し、秋田高校もこれを快諾したためである。現役に刺戟されて往時の熱戦がよみがえった両校の硬式野球部OB会は、せっかくの機会にOB戦も同時に開催できないか検討を重ね、県高野連の協力も取り付けて実現にこぎつけた。さて、当日朝の八橋球場。花冷えのグラウンドには母校のユニホームに身を包んだ両校あわせておよそ百人ものOBたちの姿があった。体型の変化は何するものぞ、皆はつらつとこぼれるような笑顔でトスバッティングをし、ノックを受けて試合開始に備えていた。ベンチからは「現役当時よりも明るく練習熱心だ」と冗談まで飛び出す和やかムード。

再び突き放し、結局四回終了時9対4のスコアで三十九歳以下のOBと選手交代した。五回から登場した若さとスピードに勝る三十九歳以下のOB選手たちは、現役選手顔負けの軽快なプレーでスタンドをしばしば沸かせた。秋田高校は五回に打者十人の猛攻で大量5点を挙げて一時は同点に追いつく健闘を見せたが、秋田商業はその後すぐさま反撃に転じ、結局16対10で秋田商業が勝利を取めた。両校とも豊富な持ち駒を惜しげもなく投入、目まぐるしい選手交代の総力戦となった今回のO

B戦、飛び交ったヒットの数々は秋田高校十五本、秋田商業十七本と実力伯仲の好試合だった。

同日午後から行われた現役戦は秋田高校が追いつがる秋田商業を10対9で振り切り、OB戦の雪辱を果たした。



### 近況報告集を発行

昭和25年卒の同期会会員名簿兼近況報告集Ⅱ写真Ⅱが、平成二十一年九月十九日、秋田市の協働大町ビルで開かれ

## 第17回 羽城館企画展

### 佐藤克己洋画展

本年は佐藤克己氏（昭和九年卒）のご協力により、洋画展を開催することになりました。是非ご来場下さい。

氏は美術教師として優秀な人材を育成なさると共に、県の指導主事や小中学校長をなさいました。ご退職後は毎年ヨーロッパにお出でになって、小画集を上梓なさっています。

期日 平成22年7月3日(土)～8月27日(金)

午前10時～午後4時 へ土・日・祝祭日、7月5・6日、8月13・16日は休館

場所 秋田高校同窓会館「羽城館」

## 太平山 / ヤマキウ

### 小玉醸造株式会社

代表取締役社長  
**小玉 真一郎**  
(昭和49年卒)

湯上市飯田川飯塚字飯塚34-1  
TEL 018-877-2100  
FAX 018-877-2104  
www.kodamajozo.co.jp

## 親しみと温かさを

### 佐野薬局・サノドラッグ

秋田市保戸野通町3-31  
株式会社サノ・ファーマシー

代表取締役  
**佐野 元彦** (昭和49年卒)  
取締役副社長  
**佐野 克彦** (昭和59年卒)  
取締役  
**佐野 まり子** (昭和45年卒)  
取締役  
**高橋 寛** (昭和54年卒)



「同窓会だより83号」で紹介された一人千五百円は誤りでした。訂正いたします。

た「第33回同期会」に併せて発刊された。叙勲など会員の慶祝や物故会員十人への追悼文、欠席者からの近況文など詳細に掲載されている。なお、同会の現在の年会費は、一人三千元。